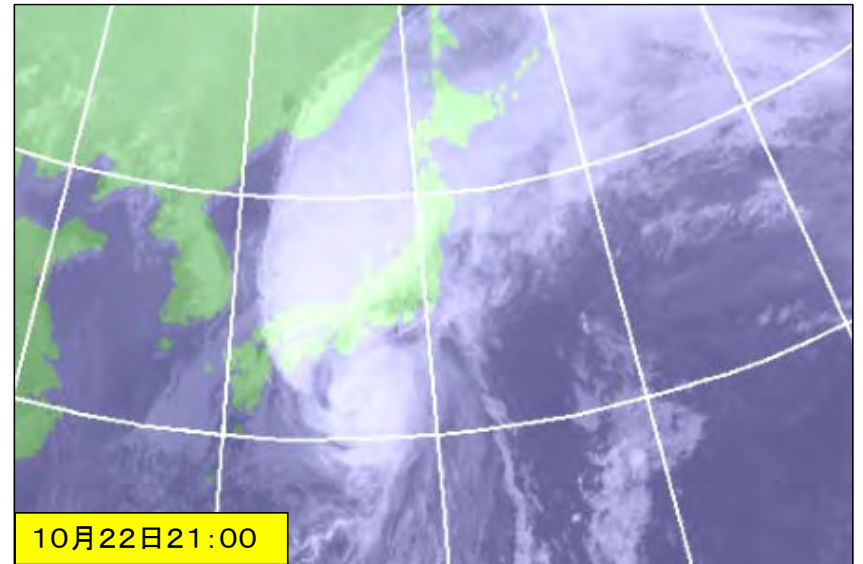
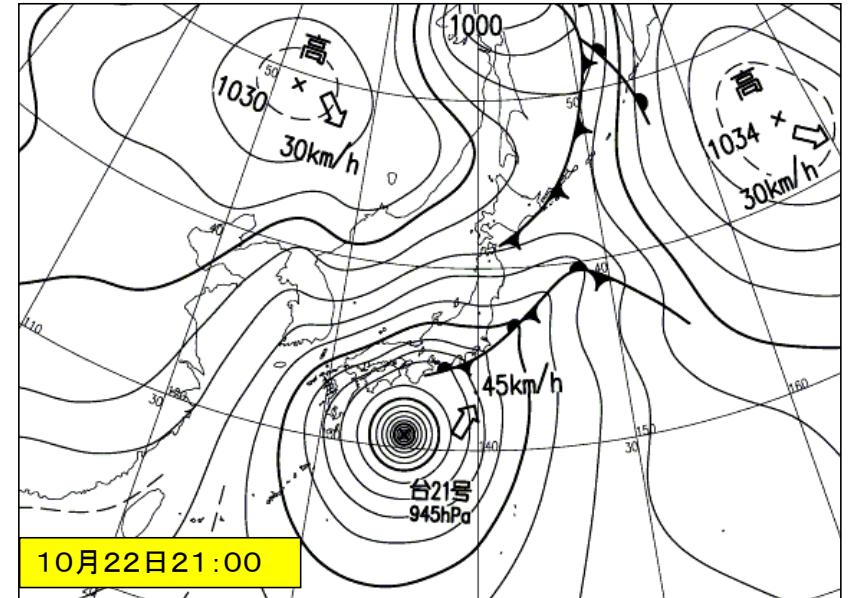
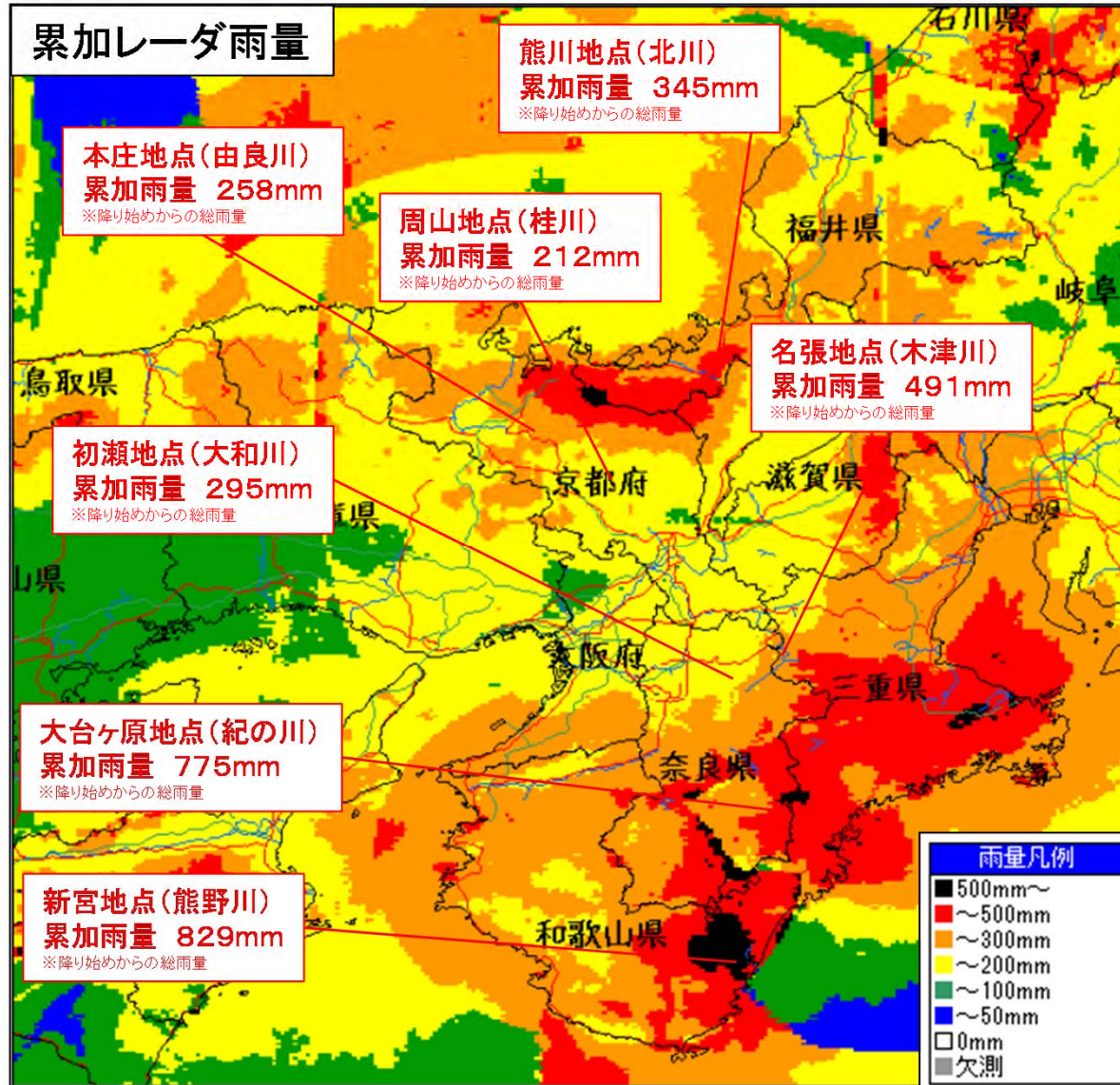


# 平成29年度の出水概要

---

# 台風21号と前線による大雨[平成29年10月20日~23日]の概要

20日から断続的な降雨の後、超大型台風21号が近畿に最接近し、22日夜から23日明け方にかけて、近畿全域で非常に激しい雨が降り、降り始めからの雨量は多いところで近畿南部で約830ミリ、近畿中部で約490ミリ、近畿北部で約350ミリを超えることとなった。広範囲に及ぶ降雨により、近畿管内の各地で浸水被害が多発。

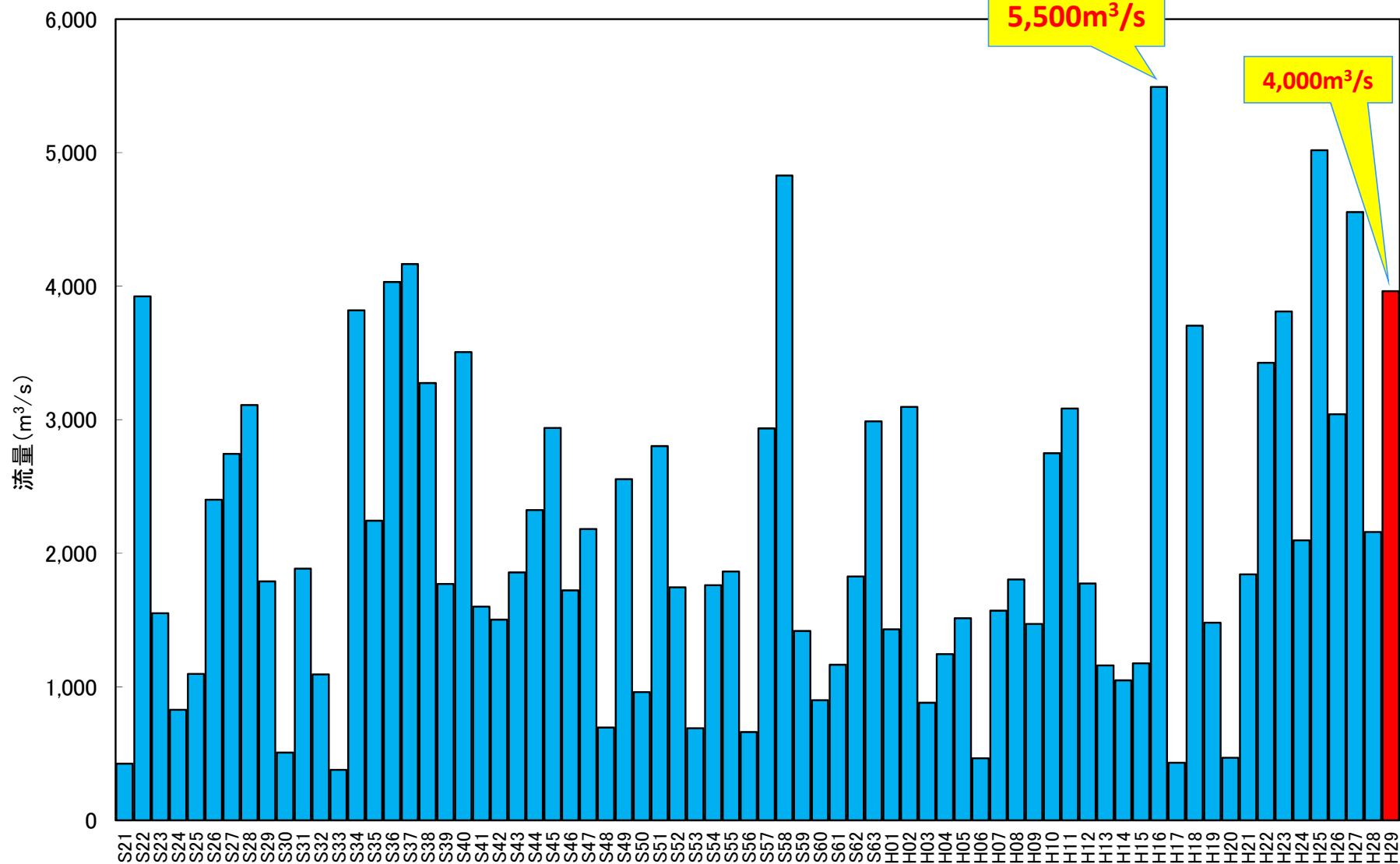


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

# 平成29年度の出水概要

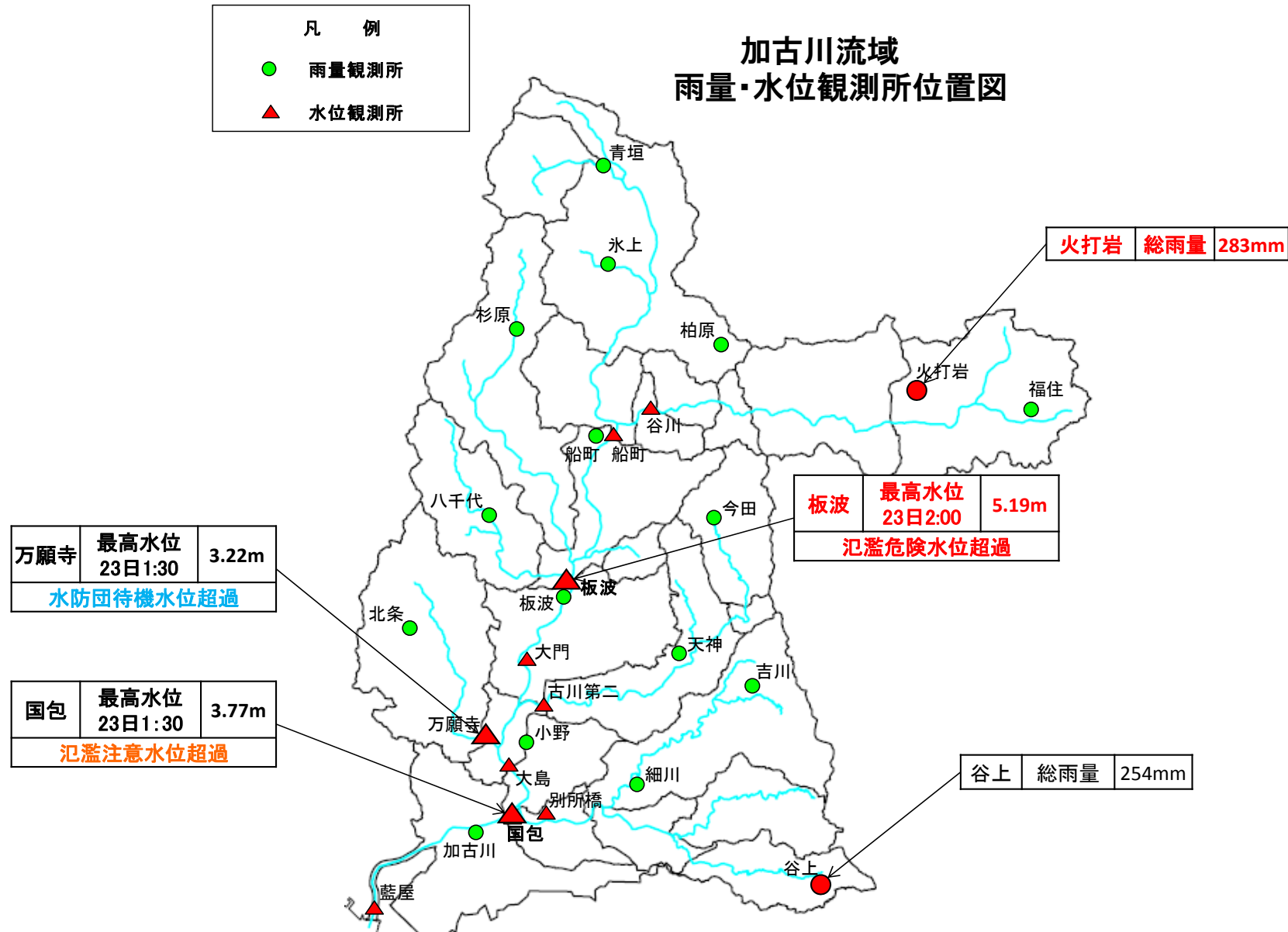
○平成29年度は、加古川において10月21日～23日に発生した台風21号が最大流量を記録した。国包地点流量は約4,000m<sup>3</sup>/sの出水であり、滝野地区において浸水被害が発生した。

## 国包地点 年最大流量



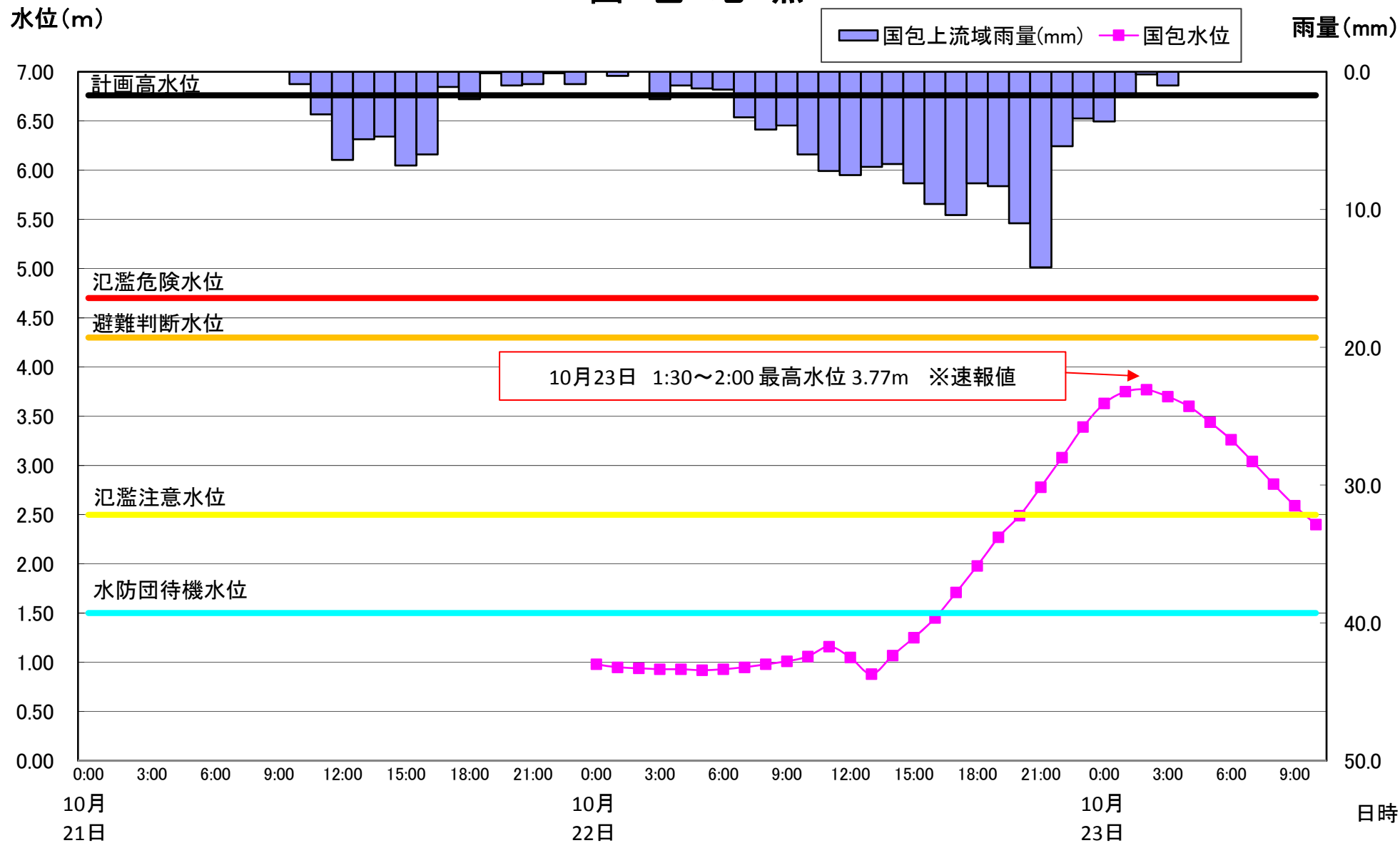
# 雨量・水位

○降り始めの10月21日午前～23日夕方頃まで、多いところでは総雨量283mmを観測した。  
板波水位観測所で「氾濫危険水位」を超過した。



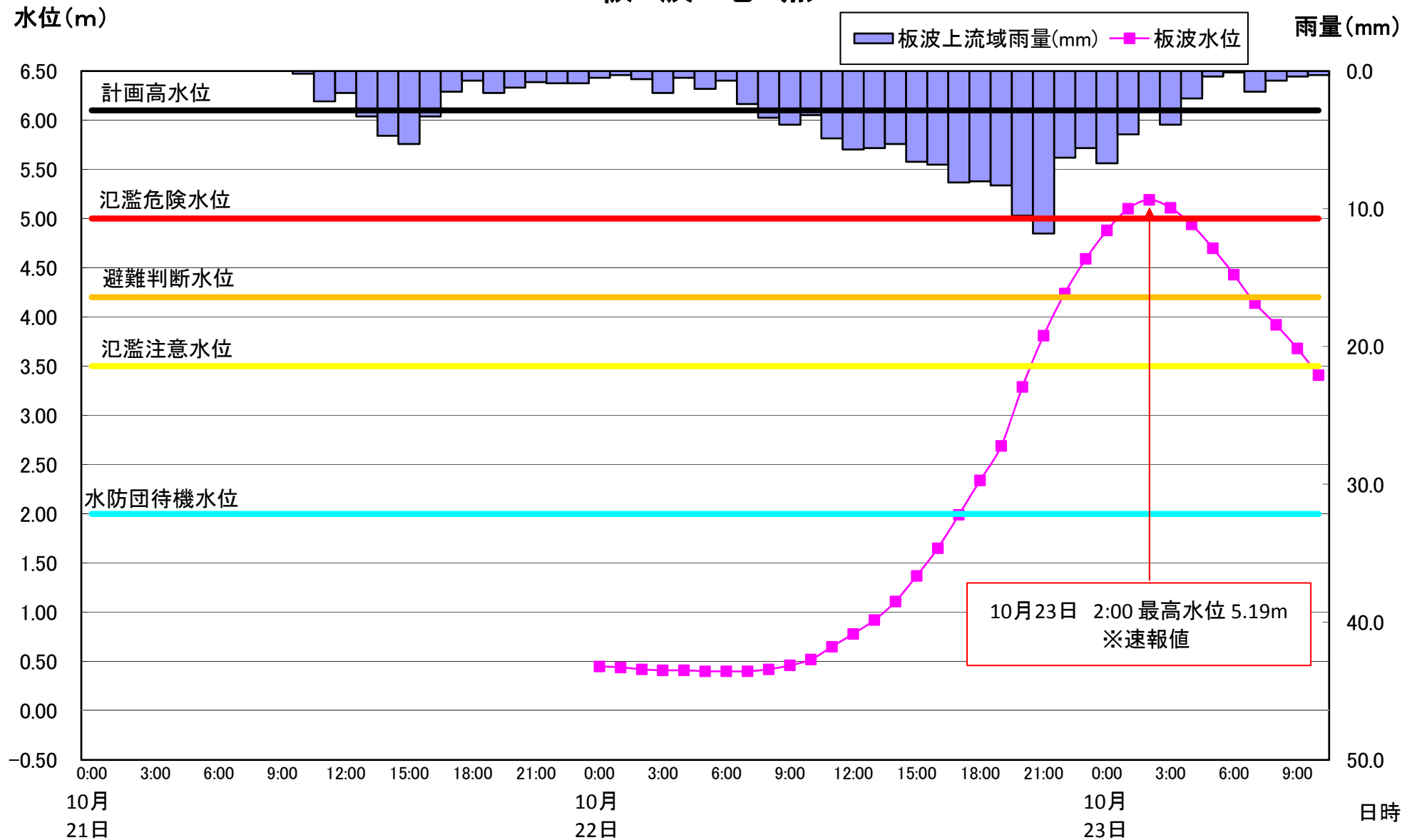
# 洪水の概要（国包地点）

## 国包地点



# 洪水の概要（板波地点）

## 板波地点



# 河川改修事業の効果（加東市滝野地区）

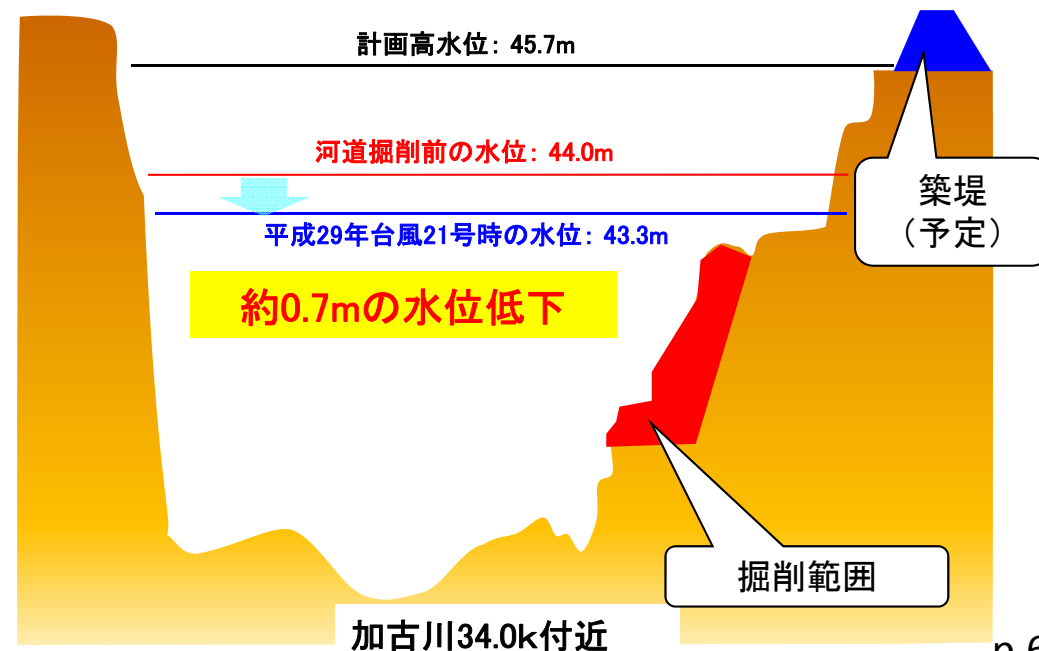
- 加古川では、平成16年台風23号洪水により甚大な被害が発生したため、加東市滝野地区において河道掘削（約7.8万 $m^3$ ：平成29年8月末時点）、築堤（約200m）を実施。今後、築堤をさらに実施予定。
- この事業の効果により、平成29年10月22日～23日の台風21号洪水では、**加古川の水位が約0.7m低下**。
- 今後予定している築堤・河道掘削により、水位が上昇した際の安全度がさらに向上。



●掘削事業 施工状況(加古川33.8k付近)



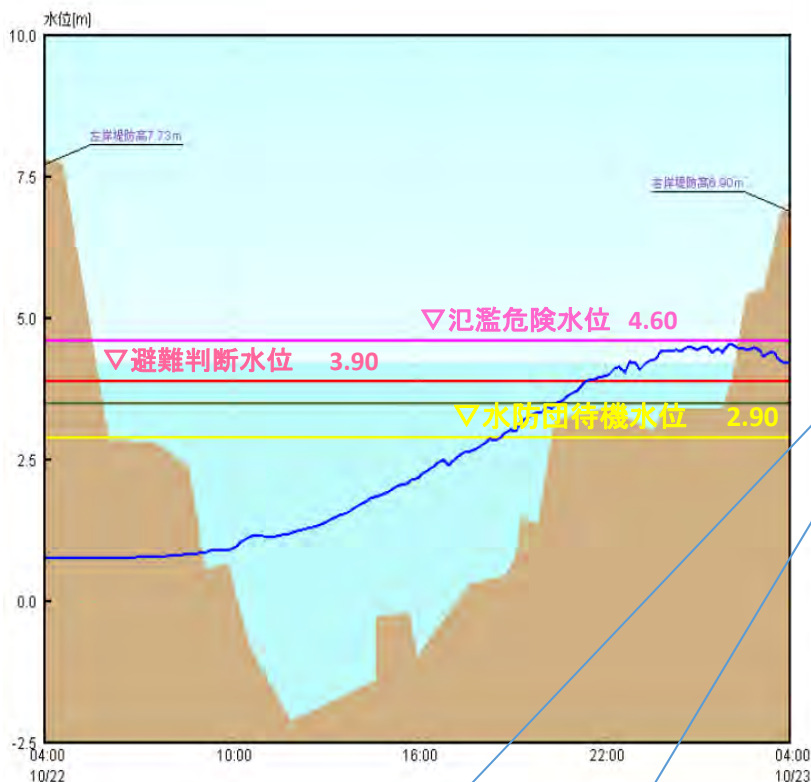
平成29年10月22日～23日台風21号洪水  
(加古川35.2k付近：加東市滝野地区)



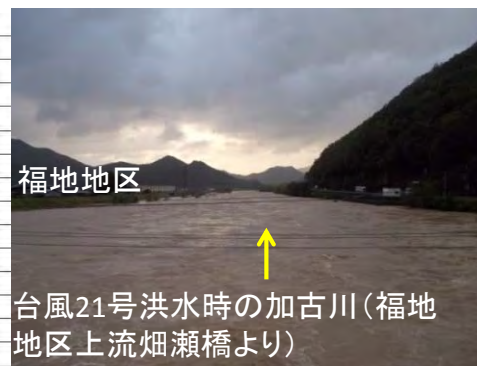
# 河川改修事業の効果（西脇市黒田庄町福地地区）

○西脇市福地地区では、平成23年、**25年度**に浸水被害が発生したため、平成26年度より暫定的に河道掘削を実施し、平成29年度末に暫定掘削が完了（計約5.2万m<sup>3</sup>）。

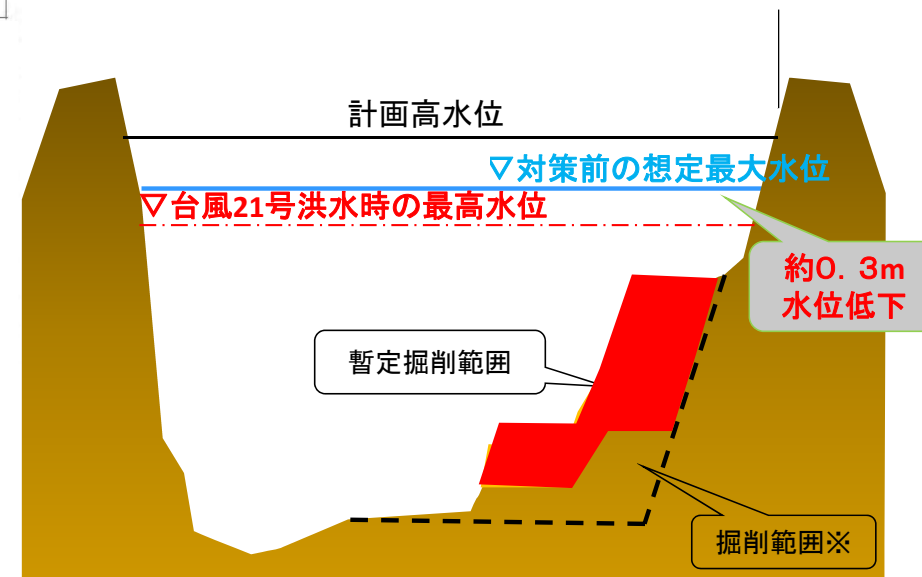
○河川改修事業や西脇市における総合治水の取り組みにより、平成29年10月の台風21号洪水では、**加古川の水位が約0.3m低下**。



10/23	時刻	水位 (m)
	00:10	4.43
	00:20	4.44
	00:30	4.41
	00:40	4.49
	00:50	4.48
	01:00	4.44
	01:10	4.48
	01:20	4.48
	01:30	4.39
	01:40	4.47
	01:50	4.39
	02:00	4.53
	02:10	4.54
	02:20	4.47
	02:30	4.46
	02:40	4.45
	02:50	4.48
	03:00	4.45
	03:10	4.32
	03:20	4.40
	03:30	4.39
	03:40	4.25
	03:50	4.21
	04:00	4.22



加古川43.4k付近



平成29年台風21号洪水では西脇市の上戸田水位観測局で氾濫危険水位(4.60m)まであと6cmの4.54mまで水位が上昇した。  
 ※氾濫危険水位・・・避難勧告発令の基準水位

※河川整備計画における掘削範囲